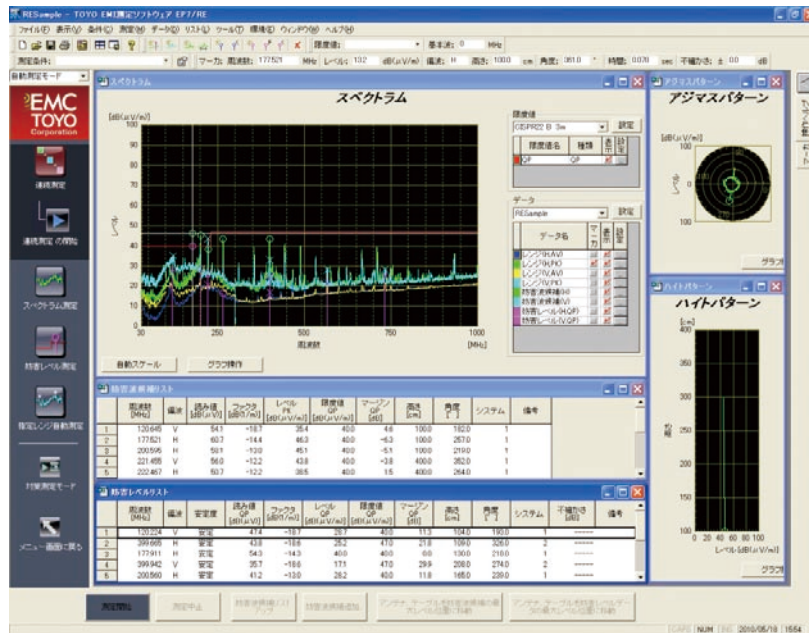


EP7/RE 型 放射ノイズ評価測定ソフトウェア



基本測定機能

● レンジ測定 (スペクトラムデータの取得)

最終認定試験のプリテストと及び供試装置の対策測定を行います。アンテナマストの上下及び、ターンテーブルを回転制御させながらスペクトラムデータの最大値を取得します。この時、各周波数において最大位置のアンテナ高さ、テーブル角度を同時に取得することも可能で、対策時間の短縮ができ、確実な対策を行うことができます。

● 候補リスト作成 (QP 測定すべき妨害波の選択)

スペクトラムデータよりピーク値を自動又は手動でピックアップします。自動の場合、限度値からマージンの少ない順に条件で設定された数の妨害波をピックアップしリストを作成します。

● 妨害レベル測定 (最大放射位置での QP 測定)

ピックアップした各周波数についてハイト、アジマスパターンを測定し、放射レベルが最大になる詳細な位置を測定します。この位置で QP 測定を行います。測定時間を短縮するためスペクトラムデータを取得した際の最大放射位置データを使用することも可能です。

ばらつき評価機能

製品・対策部品や、測定環境によるばらつきを評価・判断するために、複数のデータ取得後に標準偏差を計算してグラフ化することで、信頼性が容易に確認できます。

タイムドメイン解析 (2D/3D グラフ)

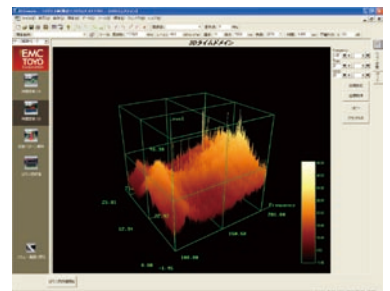
可能な限り高速で収集されたスペクトラムデータは全て保存され、測定後に 2D (時間/レベル)・3D (周波数/レベル/時間) グラフ表示や数値データにより評価・解析することができます。

上記の 3D (周波数/レベル/時間) グラフにおいては、従来ソフトウェアでは実現できなかった時間軸での解析が可能です。この 3D グラフには以下の特徴があります。

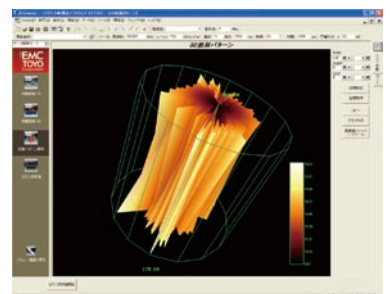
- グラフ回転機能 (回転方向・回転速度は任意)
- 3 軸それぞれに任意スケールに変更可能 (周波数スパン・時間・レベルの拡大・縮小など)
- 多彩な表示色設定

放射パターン解析 (2D/3D グラフ)

スペクトラムデータ取得と同時にターンテーブルの角度とアンテナマストの高さデータを取得・保存することで、製品からのノイズ放射パターンを測定後に 2D (角度/高さ、レベル差は色彩で表示)・3D (角度/高さ/レベル) グラフ表示や数値データにより評価・解析することができます。



3D (周波数/レベル/時間) グラフ



3D (角度/高さ/レベル) グラフ